

# 図書館だより

No. 63

Dec. , 2002



KURUME NATIONAL COLLEGE OF TECHNOLOGY

国立久留米工業高等専門学校

# 目 次

1. 巻頭エッセイ			
国際交流とボランティア	.....	材料工学科 松原安宏	..... 1
2. ミュンヘンはやさしい雨だった			
= ドイツ文化研究会の研修旅行に寄せて =	.....	一般文科 坂元宏志	..... 2
3. 私の一冊			
『車輪の下』	.....	電気工学科5年 本村珠美	..... 5
『レイチェルと滅びの呪文』	.....	生物応用化学科1年 尊田夕琴	..... 5
『我らが隣人の犯罪』	.....	制御情報工学科3年 田中達也	..... 5
『十二番目の天使』	.....	材料工学科5年 城本貴子	..... 5
4. リレー連載 <古典への誘い>			
高木貞治著『解析概論』	.....	一般理科 矢谷良幸	..... 6
5. 寄贈図書(平成14年度前期分)	.....	図書係	..... 7
6. 受入図書一覧(平成14年度前期分)	.....	図書係	..... 7
7. 平成14年度 図書館利用状況(前期)	.....	図書係	..... 14
8. INFORMATION	.....	図書係	..... 15
9. 編集後記	.....	図書主幹	..... 15

表紙 COMPUTER GRAPHICS

この表紙は色の三原色+黒のみを使って作ったモザイク画です。特別難しい手法は用いず、主にペイントソフトのコピー貼り付け機能を用いて作りました。近くから見るとただのドットですが、遠くから見ると...ですよ。

制作：C.C.C.(活動部 Convenient Contents Creators : <http://knctccc.tripod.co.jp/>)



2002初秋

# ミュンヘンはやさしい雨だった

== ドイツ文化研究会の研修旅行に寄せて ==

一般文科 坂元宏志

ウィーン発パリ行き国際特急EC0498モーツァルト号は9月26日午後早くミュンヘン中央駅ホームへ滑りこんだ。ここはどん詰まり駅、運転手が座る先頭車両の真正面が駅構内という構図だ。発車すると列車は今度は最後尾車先頭車になって、つまりしっぽが頭になって目的地へ向かって走り出す。ちょうど二昔前私は2度ミュンヘンに来ている。それぞれ1週間ずつの滞在だった。その時は留学地のドイツ南西部、もうスイスとの国境の街ボーデン湖畔のコンスタンツからローカル急行で5時間かけてこの中央駅に着いた。とてもがらんとした広い駅だという印象が残っている。この日は人が多くて初めての駅のようでもあった。待ち合わせ場所はインフォメーションの前だ。ミュンヘン着の列車の時刻表が掲示してある。フランクフルト発ミュンヘン直行の国内特急はもうかなり前に着いている。

やがて5S牛島祐亮、3S堀哲也両君が大きなりュックバックを背にして現れた。直行ではなくフルダ経由で来たという。二人は私の姿を見て随分ホッとした表情だ。通称秋休み中の9月24日に日本を発ち25日にフランクフルトのユースホテルで1泊していた。生まれて初めての外国異国の地しかも遠い遠いヨーロッパ・ドイツだ。日ごろ学校で身近にいる人間の慣れた顔を見ると、まるで雪の降る寒い戸外から暖房のきいた暖かい家の中へ入って温かい飲み物を口にしたときの気分がするものだ。早速雨模様の中、ヨーロッパの雨は嵐でもないかぎりはやさしく濡れてる気分だが、予定の行動に移る。400メートルほど歩いてカールスブラットの私が泊まるホテル・ケーニヒスホーフへ行く。チェックインのフロントにはドイツに来て4カ月という日本人ホテルマン研修生氏が現れている。教えてくれる。この人もこのホテルは日本人客はめったに来ないとかで懐かしそうだった。牛島、堀両君の荷物も

私の部屋に置いてすぐ出かける。

3時過ぎの遅い昼食をとる。ドイツにもマクドナルドがあった。腹が減っては戦はできぬ。本当は街に慣れるためには地下鉄に乗る方がいい。時間がなかった。BMW博物館までタクシーに乗る。運転手とちょっとしたおしゃべりができるメリットはある。入場したのが16時、17時が閉館だ。牛島、堀両君はビデオをまわし続けの密度の濃い見学となった。ここは自動車好きのあなただったらたまらなく魅力的なところだ。BMWの車が歴史的なことを中心に年代をおって1、2、3階と展示されている。一番よい見方は、長いエスカレーターを3階まで上がり自動車、オートバイ、飛行機エンジンなどおよそ100点の展示を見ながら螺旋状のフロアを少しずつ下りる仕組みを活用することだ。隣の本社ビルは別名が「4気筒」、シリンダーの形だ。近くのオリムピクタワーと競演している。

外に出てタクシーを探す。ドイツでは普通タクシースタンドからタクシーに乗る。流しを探すのは難しい。雨の中場所を変えて数分手を挙げてやっと1台止まってくれた。人口120万のミュンヘンにタクシースタンドは約50あると運転手氏が言う。Sonnenstrasse32の三菱重工業ヨーロッパのミュンヘン支店を訪ねる。牛島、堀両君のホームステイのお世話をしてくださった中村支店長にご挨拶をする。みんなでイタリア料理をご馳走して頂く。

日本とドイツ。人口は1億2千700万と8200万、国土の広さはたいして変わらない。明治維新のあと長い間日本はドイツからたくさん学んだ。言わば兄貴分だ。第2次世界大戦ではイタリアも含めて同盟して戦った。散々なめにあった。戦後は両国とも廃墟から立ち上がった。今では経済力は多少の陰りがあるとはいえ世界のトップクラスだ。最高に豊かな国だ。時間当たりの賃金：1位ドイツ - 43.97マルク、5位日本 - 36.01マルク。

年間労働時間：1位ドイツ1579時間、19位日本1967時間。年間休暇日数；4位ドイツ30日、17位日本11日(労働時間は1996年：'Das Jahrbuch Nr.1 Aktuell Harenberg Lexikon der Gegenwart '98"による。賃金と休暇日数は1994年：「事典・現代のドイツ」[大修館書店]による)。教育の面を見る。ドイツの学校は高校までは午前中授業だ(せいぜい13時まで)。昼食は帰宅してから家族と一緒に取る。宿題は出るが一日の自由時間がたくさんある。高専生には多分ないが日本の小中高生のがかなりが塾通いだ。夜の街や駅に小中高生の多いこと。

「労働」と「教育」でこれだけ違う。日本とドイツは世界をリードするいろんな分野のレベルで肩を並べている。昔コンスタンツで留学生仲間の日本人と話した。医学はどちらがすぐれているのか。同じレベルだ、がおおかたの見解だった。ただし医学の基礎・土台をドイツは自分たちでコツコツ積み重ねてきている。日本はそこはアメリカにおんぶされてきた。そこら当たりが全然違うと。ミュンヘン中村支店長の話はこうだ。ドイツは人材育成の面で学校と企業の連携が緊密でうまくいっている。それが成功のポイントだと。4年制の基礎学校(日本の小学校)終了後進路は3つに分かれる。ギムナジウム(9年制)へ進めば大学へ行くことになる。基幹学校 5年制 と実科学校(6年制)に進めばそこを出た後は働きながら学ぶ。ちゃんと目標がある。マイスターになることだ。マイスター制度がドイツ製品の高品質を支えてきた。国家の資格試験を受けながら徒弟から職人へ、職人からマイスターになる。そのことで高い技術力と経営能力を身につけ社会的信頼を得てきた。ドイツのカレンダーの1週間は月曜日に始まり日曜日に終わる。金曜の夕方から日曜までが週末だ。ここにまとめて予定を書き込む。ある大学生が自分たちの要求でカレンダーはこう変わったと言っていた。ドイツ人の仕事の集中度は極めて高い。働くときはよく働き、遊ぶときはよく遊ぶ。ヨーロッパ連合(EU)は現在15カ国、2年後には東ヨーロッパにウイングを伸ばし25カ国、やがて30カ国になる。域内には5億人以上住むことになる。ドイツが地理的にも人口(ドイツに次ぐイギリス・フランス・イタリアがおよそ5800万)の上からも経済的にも中心だ。

ドイツ人は個性派だ。全国各地の個性を守りに守るのはヨーロッパ人の共通の気質だ。他人と同じなのを徹底的に嫌う。人と同じことをしていていたい人生が面白いのだろうかと考える。自分のアイデンティティを強烈に求める。たくさんの民族がいるからかもしれない。衣服もそうだ：イタリア・創造の喜び、フランス・知性の勝った小粋、ドイツ・ベルギー・オランダ・重く質実野暮、ギリシャ・洗練されたいにしえ風の民芸風、スペイン・大人びた艶、イギリス・格・クラシック・イカす、といった具合だ。(岩波新書「ヨーロッパの心」犬養道子著による)子育てのし方；まだ赤ちゃんの時から両親とは別の部屋に一人で寝かせる。始めは夜は暗くて赤ん坊はこわがって泣く。やがて慣れる。自分も母親として辛かったとヨーロッパに30年住むドイツ人がご主人の日本人女性が言っていた。この世の中で自分は一人きりの存在なのだという意識はここから生まれる。人間は孤独なのだと心から思う。しかしだからこそ逆に人にやさしくなれる。ヨーロッパに行ったたいていの日本人がそのやさしさ・しんせつさに触れてほっとした思いをいただく。

私は9月後半の2週間ヨーロッパ文化・ドイツ語圏文化研究のためウィーンでは美術史美術館、自然史博物館、産業技術博物館その他いくつもの、ミュンヘンではBMW博物館、ドイツ博物館を訪れた。たいていどこにも小学生ぐらいの子供たちが先生や親と一緒に見学にきていた。展示物を模写しているグループがいた。



(牛島君(左)と筆者)

小グループの子供たちは今自分が見ているものについてかならず一言以上コメントしていた。子供でも自分の考えをもってちゃんと口に出す。黙っていたら頭の中身が空っぽだと思われるのが嫌なのだ。60年前



の第2次世界大戦中同盟国の日本人をヒトラーは陰で東洋の猿呼ばわりしていたと言う。確かに日本人は独創力には乏しいが他人が発明したものをアレンジして高性能のものを作ることに抜群の才能を示す。「まねぶ」は「まなぶ」だからそれは悪いことではない。

他人がするから自分もするという真似はどうだ。初めはサッカーの選手から始まった。3年ぐらい前だった。ある朝目が覚めて驚いた。いつの間にヨーロッパに来たのだ。私の回りに出没する人間は皆髪の毛がブラウンだ。私の家族も通行人も学生もヤングや女性は同じような顔をして同じような茶色の頭だ。真正本物の金髪ブロード系の髪を比較的たくさん見慣れている私にはどうも見劣りする。よくよく見たら目が黒い。やっぱり日本人だった。昔の日本人は欧米人コンプレックスがあった。今も色濃く残っているから真似ているのかな。昔の欧米の植民地の人たちがこんな真似をしたらどうか。どうもアンバランスだ。日本人は目が黒いから似合わないと言った。聞き入れようとしないのでほおっておいたが。流行だからそうしないと付き合いのうえで気まずいらしい。変身願望は誰にでもある。変身したければ奇抜に個性的な服装をしたり心に仮面を被るほうがしゃれている。髪は大事なからだの一部だ。自然のままが一番だよ。少々脱線気味なので本線に戻す。

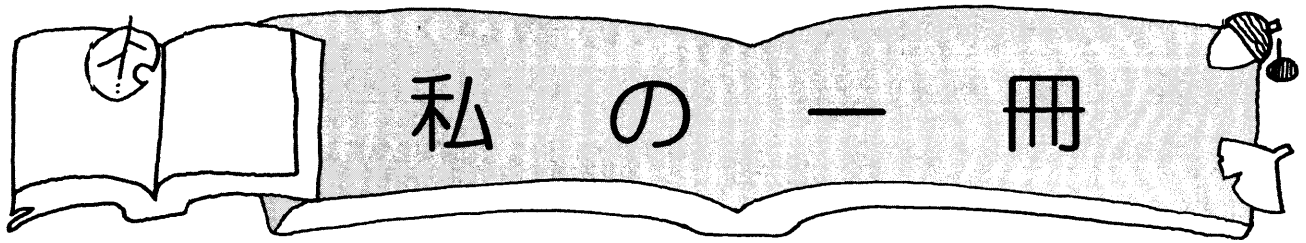
翌日9月27日朝はまたも雨、濡れて歩くほどは細やかでない雨の中を牛島、堀両君とイザール川の川中島に建つスケールの大きなドイツ博物館へ向かう。世界最大クラスの自然科学、工業技術博物館だ。楽器、写真から天文学まで30の分野に分かれた展示物は合計1万7000点。乗り物が充実していてライト兄弟が発明した飛行機もある。世界最大のおもちゃばこだ。だって実物大の展示物は何でも自分で触って実験が出来るのだから。理系人間でなくてもとても1日では無理だ。丹念に見れば3日はかかる。

また来れるさと自分を納得させている表情の両君と午後2時には博物館を出る。約束の3時より15分前に三菱重工業ミュンヘン支店へ着く。中村支店長夫と社員の加賀谷さんが堀君のホームステイ先特許弁護士トウーリさんの事務所へ市電で案内して下さる。トウーリさんにご挨拶する。引き受けたからご安心をと

トウーリさん。牛島君はドイツ語で自己紹介して日本語教師でもある加賀谷さんに褒められる。その後トウーリさんが牛島君のホームステイ先のノイエピナコテーク(美術館)の館長レンツさんの自宅へと連れて行ってくださった。二人はその日の夕方・夜と翌28日には、9月下旬から10月初旬までの16日間で世界中から700万人がやって来る最大のビール祭りオクトーバーフェストに連れて行ってもらったり、バイエルン州立歌劇場のオペラ見学に招待されたり大変歓待された。29日ホームステイ先に惜しまれながら辞去、日本人には大人気のノイシュバインシュタイン城へと出発。さらにレーゲンスブルクに寄りながら北上、ベルリンへと二人旅を続けて10月6日無事元気で帰国した。

私は二人をホームステイ先に託した後28日話には聞いていたオクトーバーフェストへ参上。まだ昼前に着いたのに6つのバイエルンのビール会社が建てたそれぞれ2000人入る仮設のビヤホールはどこも満杯だった。何力所かでは入ったがとうとう席は一つも見つけることができない。ここまで来てあの1リッター入りのジョッキを手にはできないとは情けないやら悔しいやら。まあしかしこのウエイトレスたちの体格のいいこと。170センチ以上はありがっしりしている。大ジョッキを12のせたおぼん(ジョッキの重さも合わせると15キロ)を一度に運び、酔っ払って暴れまわる大男を外へ放りだすのだ。しかたなく小さな店でやっと席を見つけてもちろん相席で0.5リッターグラスでの昼食と相成った。

9月29日ホテルからミュンヘン空港までタクシーに乗る。運転手は6つ言葉に通じていると言う。日本人は黙ってただ笑うだけだが中国人は非常によくしゃべってコミュニケーションが上手だそう。チロル地方上空をチロル航空の双発プロペラ機でウィーンへ引き返し、オーストリア航空機に乗り込む。機内はほとんどが日本人乗客、ここはまだウィーンだというのに日本気分が蔓延、いきなり緊張が飛んで行ってしまった。日本時間9月30日朝関西空港に到着。乗り換えて福岡着は昼でした。辛い経験をした時人間は思い出を大切にして悲しむ能力が要するという。angenehm(英語・pleasant)なことを経験した時は人間はどんな能力があればいいのだろう。



ヘルマン・ヘッセ著

『車輪の下』

新潮社

文学史には必ず載っている程有名な本ですが、実際に読んだことのある人はあまりいないのではないのでしょうか。本の虫である私も名作=古臭いというイメージが強く、つい最近、初めて手に取りました。ところが、物語は現実との境目を無くす位私を魅き付けました。主人公ハンスは村中の期待を受け、難関の神学校へ進学します。しかしその後、彼は友人関係や学問に悩み、徐々に衰弱していきます。そういった陰鬱な内容にも関わらず、偉大なノーベル賞作家・ヘッセの自伝的小説であるという事実が、読後に希望を与えてくれました。生きる事が怖い人、将来に不安を抱く人、毎日疲れてしまう人に読んで欲しいと思います。

(電気工学科5年 本村 珠美)

クリフ・マクニッシュ著 金原瑞人訳

『レイチェルと滅びの呪文』

理論社

ハリーポッターに続くイギリス新鋭作家のファンタジーです。〈あらすじ〉降る雪さえも黒い暗黒の星イスレア。ここでは邪な魔女が全てを支配する。魔女が作り出した邪悪な生き物、さらわれてきた子供の奴隷達、あらゆる物にこめられた呪文……。イスレア星に突然連れてこられたレイチェル。魔女のテストを受けることに。やがて、魔法の力を身につけたレイチェルは星を支配する魔女と対決する事に。はたしてレイチェルは、この星を救う事ができるのか？ この本は3部作の1作目で、新刊として2作目も出版されました。この本が読みたくなったら図書館へ!! おすすめです。

(生物応用化学科1年 尊田 夕琴)

宮部みゆき著

『我らが隣人の犯罪』

文藝春秋

『我らが隣人の犯罪』、『この子誰の子』、『サボテンの花』、『祝・殺人』、『気分は自殺志願』が収録された一冊。ユーモラスあり、ほのぼのあり、そして熱くこみ上げる感動あり。それぞれに味わい深い5編の短編集です。子供を主人公にした「ちょっとしたミステリー」があれば、刑事を主人公にした殺人事件もあるという具合で、内容がバラエティに富んでいて飽きません。全245Pとボリュームも手頃です。特に『サボテンの花』はオススメです。

(制御情報工学科3年 田中 達也)

オグ・マンディーノ著 坂本貢一訳

『十二番目の天使』

求龍堂

妻と息子を事故で亡くし絶望する主人公。そんな彼の心を救ったのは一人の少年との出会いだった。少年は野球チームの中でもひととき小さく、才能もなかった。周りの人は皆、すぐにあきらめてチームをやめるだろうと思っていた。しかしその少年だけは「絶対あきらめるな」と自分に言い聞かせ、決してあきらめなかった。少年は脳に腫瘍があり、しだいに身体が動かなくなり、最後には死ぬという病気にかかっており、あと半年の命だった。その願いは「試合でヒットを打つこと」と「最後まで普通の生活をする事」だった。絶望の中で命を断とうとしている主人公と、今ある生を懸命に生きようとする少年。そんな少年に近づくことで主人公は生きる希望を失ってはいけないと、自分のしようとしていたことのおろかさに気づくのがあった。

(材料工学科5年 城本 貴子)



## 高木貞治著 『解析概論』

(岩波書店刊)

一般理科 矢谷良幸

私は「図書館だより」N0.60(2001年6月)の「こんな本がありますよ!!」に三冊の数学書を紹介した。そのうちの一冊、高木貞治著「解析概論」についてもう少し詳しく述べよう。

解析というのは微分や積分、およびそれらを発展させた複素関数論や微分方程式等の分野である。数学には解析のほか代数や幾何などの分野がある。

この本は我々が大学生の頃、理科系教養課程(1、2年)の者は誰もが読むべきものとされていた。それ程権威のある本であったが、実際には途中で挫折する者が多かった。私も初めは難しくてなかなか読めなかった。しかし何度か先に進んだり後に帰ったりしていくうちに、なかなか魅力もあり、親切でもあると感じるようになった。論証が明快で、しかも興味を湧かせるように述べてあり、実に練りに練って書かれていると思う。

勿論、今でもわからない所は沢山あるし、全部を読んだわけではない。後に必要に応じて所々読んだとき、とても自分にはこんな考え方はできない、いつまでたっても自分はこの本の水準に達していないと思知られることが多かった。

形式的には、この本の大部分の内容は高専の教科書に出て来る。最後の第九章ルベグ積分を除くと、極限や連続、微分、積分、複素関数、フーリエ級数等で、4年生までの授業に一応出て来る事柄である。そうはいっても諸君が読もうとすると、自分の知っている事と相当な開きを感じるだろう。「すべて初めは難しい」という諺の通り、第一章は難しい。従って全部を理解できなくても先に進む方がよい。そして何度もそこに帰ってみるとよい。

ただ極限の定義には注目するべきだ。

$$\lim_n a_n =$$

とは、「任意の正数  $\epsilon$  が与えられたとき、それに対応して一つの番号  $n_0$  が、 $n > n_0$  なるとき  $|a_n - \lim_n a_n| < \epsilon$  となるように定められる」とこととある。また上と同様に二変数関数の極限が定義されているが、それを一変数関数の極限に言いかえてみると、

$$\lim_{x \rightarrow a} f(x) =$$

とは、「 $\epsilon > 0$  を任意にとるとき、それに対応して  $\delta > 0$  を定めて、 $|x - a| < \delta$ 、 $x \neq a$  なるとき  $|f(x) - \lim_{x \rightarrow a} f(x)| < \epsilon$  ならしめること」となる。

初めてこれを読んですぐ、なるほどと思う諸君は少ないだろう。これはいわゆるイプシロン、デルタ式の定義で、多くの理科系大学生を悩ませてきたものである。無理をしなくてもよい。何度かこういう述べ方に接していると、何週間、あるいは何ヶ月、場合によっては一年以上たったとき、なるほどこれは極限をうまく言い表したものだと思う時が来る。そして、今までぼんやりとわかった積りだった事が明快に説明できることに喜びを見出すだろう。たとえば

$$\lim_{x \rightarrow +0} x = 0$$

程度のことで、イプシロン、デルタ式でこそ示すことができよう。

この本とともに、

溝畑茂著「数学解析」上、下(朝倉書店)

を読むと、いっそう解析学への興味が湧くだろう。

就職や進学のための実利的な勉強だけでなく、長い年月をかけて築かれた理論体系の学習に、若い一時期、全力をあげて取り組むことが、後の人生を豊かにすると信じている。



## 寄 贈 図 書(平成14年度前期分)

下記の方々より図書の寄贈を受けました。

請求記号	タイトル	著 編 者	発行所
<b>福岡県</b>			
219:F11(20-3)	福岡県史近世史料編 20-3: 細川小倉藩 3	西日本文化協会編	福岡県
<b>久留米大学</b>			
361:M131	メディアと情報を変える現代社会	白石義郎編	九州大学出版会
379:K15(20)	久留米大学公開講座 20: メディアと情報を変える現代社会	白石義郎編	九州大学出版会
379:K15(21)	久留米大学公開講座 21: 共に生きるための医療	福田勝洋、佐川公矯編	九州大学出版会
490:T16	共に生きるための医療	福田勝洋、佐川公矯編	九州大学出版会
<b>日本壁装協会</b>			
529:K11	インテリア学辞典	小原二郎ほか編著	壁装材料協会

## 受 入 図 書(平成14年度前期分)

請求記号	タイトル	著 編 者	発行所
<b>総 記</b>			
007:Z-111	まるごと図解 最新IT用語がわかる	IT用語研究会著	技術評論社
007:Z-K12	まるごと図解 最新オブジェクト指向がわかる	河合昭男著	技術評論社
007:Z-M13	これで安心BIOSの仕組み・設定・アップデート	松永融著	技術評論社
007:Z-M14	図解雑学 ティータベース	メディアミックス・ブリジエクト著	ナツメ社
007:Z-N11	図解雑学 Java	中山真敬著	ナツメ社
007:Z-N12	図解雑学 UNIX	西川猛史著	ナツメ社
007:Z-O15	まるごと図解 最新SQLがわかる	小野姪[ほか]著	技術評論社
007:Z-O16	図解雑学 パソコン	岡村友之著	ナツメ社
025:Z-B11(02)	ブックページ 本の年鑑 2002		ブックページ刊行会
059:B11(02)	ブリタニカ国際年鑑 2002年版		テレビ・エス・ブリタニカ年鑑
080:A11(27)	あじあブックス 027: 山の民水辺の神々	大林太良著	大修館書店
080:A11(28)	あじあブックス 028: 道教の経典を読む	増尾信一郎、丸山宏編	大修館書店
080:A11(31)	あじあブックス 031: 毒薬は口に苦し	川原秀城著	大修館書店
080:A11(32)	あじあブックス 032: 中国の年画	樋田直人著	大修館書店
080:A11(34)	あじあブックス 034: 風水と身体	加納善光著	大修館書店
080:A11(35)	あじあブックス 035: 中国科学幻想文学館 上	武田雅哉、林久之著	大修館書店
080:A11(36)	あじあブックス 036: 中国科学幻想文学館 下	武田雅哉、林久之著	大修館書店
080:A11(38)	あじあブックス 038: 中国の呪術	松本浩一著	大修館書店
080:T11(701)	東洋文庫 701: 日本談義集	周作人著	平凡社
080:T11(702)	東洋文庫 702: パンジャーブ生活文化誌、チシュティーの形見	N.A.チシュティー[著]	平凡社
080:T11(703)	東洋文庫 703: 宗教詩ビジャク、インド中世民衆思想の精髓	加バル[著]	平凡社
080:T11(704)	東洋文庫 704: 大旅行記 7	イブン・バットゥータ著	平凡社
080:T13	東洋文庫ガイドブック	平凡社東洋文庫編集部編	平凡社
081:T11(700)	東洋文庫 700: 鏡の国の孫悟空、西遊補	董若雨[著]	平凡社
<b>哲 学</b>			
116:T13	論理学をつくる	戸田山和久著	名古屋大学出版会
141:M18	聴覚心理学概論	B.C.J.M-ア著	誠信書房
<b>歴 史</b>			
210:N167(00)	日本の歴史 00: 「日本」とは何か	網野善彦著	講談社
210:N167(02)	日本の歴史 02: 王権誕生	寺沢薫著	講談社
210:N167(03)	日本の歴史 03: 大王から天皇へ	熊谷公男著	講談社
210:N167(04)	日本の歴史 04: 平城京と木簡の世紀	渡辺晃宏著	講談社
210:N167(05)	日本の歴史 05: 律令国家の転換と「日本」	坂上康俊著	講談社
210:N167(06)	日本の歴史 06: 道長と宮廷社会	大津透著	講談社
210:N167(07)	日本の歴史 07: 武士の成長と院政	下向井龍彦著	講談社
210:N167(08)	日本の歴史 08: 古代天皇制を考える	大津透[ほか]著	講談社
210:N167(09)	日本の歴史 09: 頼朝の天下草創	山本幸司著	講談社
210:N167(10)	日本の歴史 10: 蒙古襲来と徳政令	筧雅博著	講談社
210:N167(11)	日本の歴史 11: 太平記の時代	新田一郎著	講談社
210:N167(12)	日本の歴史 12: 室町人の精神	桜井英治著	講談社

請求記号	タイトル	著 編 者	発 行 所
210:N:67(13)	日本の歴史 13:一揆と戦国大名	久留島典子著	講談社
210:N:67(14)	日本の歴史 14:周縁から見た中世日本	大石直正[ほか]著	講談社
210:N:67(15)	日本の歴史 15:織豊政権と江戸幕府	池上裕子著	講談社
210:N:67(16)	日本の歴史 16:天下泰平	横田冬彦著	講談社
210:N:67(17)	日本の歴史 17:成熟する江戸	吉田伸之著	講談社
210:N:67(18)	日本の歴史 18:開国と幕末変革	井上勝生著	講談社
210:N:67(19)	日本の歴史 19:文明としての江戸システム	鬼頭宏[著]	講談社
210:N:67(20)	日本の歴史 20:維新の構想と展開	鈴木淳著	講談社
210:N:67(21)	日本の歴史 21:明治人の力量	佐々木隆著	講談社
210:N:67(22)	日本の歴史 22:政党政治と天皇	伊藤之雄著	講談社
222:L:4	図説三国志の世界	劉[ウエイ]編著	大修館書店
226:III:1	岩波イスラム辞典	大塚和夫[ほか]編	岩波書店
281:J:1(232)	人物叢書 232:高杉晋作	梅溪昇著	吉川弘文館
290:Y:4	気候地名集成	吉野正敏著	古今書院
291:N:14(13)	日本歴史地名大系 13:東京都の地名	平凡社地方資料センター編	平凡社
<b>社会科学</b>			
319:Z-K:1	東北アジア共同の家をめざして	姜尚中著	平凡社
329:Z-U:1	ハンドブックNGO	馬橋憲男、斎藤千宏編著	明石書店
351:Z-N:1(02)	日本国勢図会 2002/2003年版第60版	矢野恒太記念会編	国勢社
351:Z-N:1(2002)	世界国勢図会 2002/03年版	矢野恒太記念会編	国勢社
369:III:37	音の福祉工学	伊福部達著	IPA社
383:Z-F:1	ネクタイの数学 (新潮OH!文庫 097)	トマス・フィンク、ヨソ・マオ[著]	新潮社
<b>自然科学</b>			
400:M:1	自然科学への招待,宇宙・物質・生命の科学	前田坦著	培風館
407:D:2	はじめての科学英語論文 第2版	Robert A. Day[著]	丸善
407:Z-K:1	研究力	有馬朗人監修	東京図書
410:F:24	天才の栄光と挫折,数学者列伝	藤原正彦著	新潮社
410:K:123	なっとくする数学記号	黒木哲徳著	講談社
410:S:166	数学,教えるヒント,学ぶヒント 2	志賀浩二著	日本評論社
410:U:18(1)	現代数学の土壌,数学をささえる基本概念	上野健爾[ほか]編	日本評論社
410:W:19	計算数学	和田秀男著	朝倉書店
412:F:26	16歳のセアラが挑んだ世界最強の暗号	セアラ・フラナリー、デイヴィット・フラナリー著	日本放送出版協会
420:C:11	物理学汎論,物理の考え方	近角聰信著	培風館
421:O:16	基礎科学のための数学的手法	小田垣田孝著	裳華房
423:H:30	力学 (物理学の基礎 1)	D. ハリディ[ほか]著	培風館
426:T:21	熱力学,現代的な視点から	田崎清明著	培風館
427:T:67	プラスチック工学入門	高村秀一著	森北出版
428:H:36	材料の物性	兵藤申一、神谷武志著	朝倉書店
428:K:59	物性論,固体を中心とした	黒沢達美著	裳華房
428:T:19	物性工学の基礎	田中哲郎著	朝倉書店
430:D:12	生活を中心とした化学15講	大学自然科学教育研究会編著	東京化学社
430:III:48	材料からみた化学	今井弘、浦上忠、辰巳正和共著	培風館
430:O:16	新版 化学,「もの」をみる目	大野惇吉[ほか]著	三共出版
430:S:79	化学と物質の機能性	杉森彰著	丸善
430:U:8	化学の世界	上田豊甫著	共立出版
430:Y:56	目でみる化学 改訂版	山本和正[ほか]共著	培風館
431:P:20	化学結合,その量子論的理解	G. C. Pimentel, R. D. Spretley著	東京化学同人
431:S:88	立体化学	芝哲夫著	化学同人
431:S:89	立体化学	芝哲夫著	化学同人
431:W:8	化学入門,物理化学を中心として	若尾慎二郎[ほか]著	東海大学出版会
431:Y:49	分子軌道法をどう理解するか 第2版	吉田政幸著	東京化学同人
431:Y:50	分子軌道法をどう理解するか 第2版	吉田政幸著	東京化学同人
433:T:56	分析化学演習	田中稔[ほか]共著	三共出版
433:T:57	分析化学演習	田中稔[ほか]共著	三共出版
437:S:26	有機反応機構 第5版	Peter Sykes著	東京化学同人
437:S:27	有機反応機構 第5版	Peter Sykes著	東京化学同人
463:H:1	分子細胞工学	芳賀信幸著	IPA社

請求記号	タイトル	著 編 者	発 行 所
<b>工学・技術</b>			
501A70	振動工学概論	明石一著	共立出版
501B28(1)	材料科学 1: 材料の微視的構造	C. R. バレット[ほか]著	培風館
501B28(2)	材料科学 2: 材料の強度特性	C. R. バレット[ほか]著	培風館
501O120	材料工学の基礎	大西忠一[ほか]著	朝倉書店
501S243	ポイントを学ぶ振動工学	鈴木浩平編著	丸善
501Y109	機能性材料科学	安田源[ほか]著	朝倉書店
501Z-A11	構造力学問題集 第2版	赤木知之、色部誠共著	森北出版
507Z-G11	実学の超研究術,ビジネスをつくる未来をつくる	有馬朗人監修	東京図書
5083(S-1)	岩波講座現代工学の基礎 14: <設計系 1> 人工物の構造と特性	中島尚正著	岩波書店
5083(Z-5)	岩波講座現代工学の基礎 14: <材料系 5> 無機材料	岸輝雄、桑原誠著	岩波書店
509K67	町工場・ス・パ・なもののづくり	小関智弘著	筑摩書房
519Y5	環境資源と工学	横山孝男[ほか]著	朝倉書店
530M18	新版 道具と機械の本,てこからコンピュータまで	デビット・マコーレイ[著]	岩波書店
531K254	Mathematicalによるメカニズム	小峯龍男著	東京電機大学出版局
531K255	機械実用力学,実際問題のモデル化と解法	國枝正春著	理工学社
531S183	機械力学,基礎と応用	清水信行[ほか]著	共立出版
531W44	機械力学 改訂版	巨理厚著	共立出版
531Z7	材料科学への招待,新しい視点に立って	入野修編	培風館
534U49	小型風車ハンドブック	牛山泉、三野正洋共著	ハリー社
535N9	やさしい精密工学,高精度化のための公理・原理	中沢弘著	工業調査会
535Z-T11	図解でわかるセンサーのはなし	谷腰欣司著	日本実業出版社
540F25	機械系の電気工学	深野あづさ著	コロナ社
54152	図解電気回路のしくみ	稲見辰夫著	日本実業出版社
542F15	電動応用工学	藤田宏著	森北出版
542T92	図解モーターのしくみ	谷腰欣司著	日本実業出版社
542Z-K11	実験とシミュレーションで学ぶモータ制御	見城尚志[ほか]著	日刊工業新聞社
545S34	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S35	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S36	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S37	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S38	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S39	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S40	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S41	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S42	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
545S43	大学課程 照明工学 新版	照明学会編	オーム社
547K41	例題で学ぶデジタル信号処理	金城繁徳、尾知博共著	コロナ社
547Z-F11	まるごと図解 最新ドットネットがわかる	古山一夫著	技術評論社
547Z-F12	まるごと図解 最新サーバサイド Javaがわかる	藤田一郎著	技術評論社
547Z-I4	まるごと図解 最新ブロードバンド通信がわかる	猪口修道著	技術評論社
547Z-I5	図解雑学 通信プロトコル	伊藤幸夫著	ナツメ社
547Z-N11	まるごと図解 最新Webサービスがわかる	日本アイ・ビー・エム Start チーム著	技術評論社
547Z-O3	図解雑学 インターネット	岡村友之著	ナツメ社
547Z-S3	イラスト・図解 LANのしくみがわかる本 改訂版	斉藤孝著	技術評論社
547Z-S4	イラスト・図解 サーバのしくみがわかる本	斉藤孝著	技術評論社
547Z-Y11	図解雑学 TCP/IP	エリソン著	ナツメ社
547Z-Y12	図解雑学 ホームページのしくみ	エリソン著	ナツメ社
547Z-Y13	図解雑学 インターネットセキュリティ	エリソン著	ナツメ社
548Z-Y11	図解雑学 デジタル画像処理	山田宏尚著	ナツメ社
549176	電子部品のしくみ	稲見辰夫、稲見昌彦著	日本実業出版社
549M285	基礎パワーエレクトロニクス	宮入庄太著	丸善
549N169	わかりやすい液晶のはなし	那野比古著	日本実業出版社
549O182	絵でわかる半導体とIC	岡部洋一著	日本実業出版社
549T272	半導体の科学とその応用	豊田太郎著	裳華房
549Z-K11	図解でわかる電子回路	菊地正典著	日本実業出版社
549Z-M11	イラスト・図解 デジタル回路のしくみがわかる本	宮井幸男[ほか]著	技術評論社

請求記号	タイトル	著 編 者	発行所
570Y20	グリーン・ケミストリー、セル・ミッションの化学をめざして	吉村忠与志[ほか]著	三共出版
570Y21	グリーン・ケミストリー、セル・ミッションの化学をめざして	吉村忠与志[ほか]著	三共出版
588O3	微生物とその利用	緒方靖哉編著	コナ社
<b>産 業</b>			
670Z-F3	国際ビジネス英語と実務	藤田榮一著	英潮社
674Z-Y1	まるごと図解 最新ネット&ケータイ広告がわかる	柳沢安慶、松本洋志著	技術評論社
685Z-J1	自転車は街を救う	水色の自転車の会編	新評論
694Z-K1	図解雑学 iモード	小島邦男著	ナツメ社
<b>芸 術</b>			
757S2(1)	デザインのはなし 1	佐藤方彦編著	技報堂出版
757S2(2)	デザインのはなし 2	佐藤方彦編著	技報堂出版
774U2	新世紀の歌舞伎俳優たち	上村以和於著	三月書房
783Z-K1	イロ・オン・イロ-Interview special edition	イロ-[著]、小松成美著	新潮社
<b>語 学</b>			
816S8	これから論文を書く若者のために	酒井聡樹著	共立出版
816Z-S1	評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方	新堀聰著	同文館出版
816Z-S2	評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方	新堀聰著	同文館出版
<b>文 学</b>			
901S1	詩のささげもの	宗左近著	新潮社
910K75	ハンネームの由来事典	喜田順一郎著	東京堂出版
913O74	生きる	乙川優三郎著	文藝春秋
913Y89	ハークライフ	吉田修一著	文藝春秋
958S1(6)	セリヌの作品 6：ルマン、またの日の夢物語II	L.F.セリヌ著	国書刊行会
<b>新書・文庫</b>			
B-B1363	ブルーバックス 1363：新・分子生物学入門	丸山工作著	講談社
B-B1364	ブルーバックス 1364：理系のための英語論文執筆ガイド	原田豊太郎著	講談社
B-B1365	ブルーバックス 1365：植物はなぜ5000年も生きるのか	鈴木英治著	講談社
B-B1366	ブルーバックス 1366：これを英語で言えますか？ 数学版	保江邦男著	講談社
B-B1367	ブルーバックス 1367：電気発見物語	藤村哲夫著	講談社
B-B1368	ブルーバックス 1368：論理パズル「出しっこ問題」傑作選	小野田博一著	講談社
B-B1369	ブルーバックス 1369：はじめてのOR	斉藤芳正著	講談社
B-B1370	ブルーバックス 1370：「健康常識」ウソ・ホント55	前野一雄著	講談社
B-B1371	ブルーバックス 1371：パソコン活用3日でわかる・使える統計学	新村秀一著	講談社
B-B1372	ブルーバックス 1372：数学にときめく、あの日の授業に戻れたら	新井紀子著、ムキ畑編	講談社
B-B1373	ブルーバックス 1373：この日なんの日科学366日事典	ルア情報研究会編著	講談社
B-B1374	ブルーバックス 1374：お話・数学基礎論	八杉満利子、林晋著	講談社
B-B1375	ブルーバックス 1375：実践量子化学入門	平山令明著	講談社
B-B1376	ブルーバックス 1376：ハット溺愛が生む病気	荒島康友著	講談社
B-B1377	ブルーバックス 1377：超々難問数理パズル	芦ヶ原伸之著	講談社
B-B1378	ブルーバックス 1378：宇宙核物理学入門	谷畑勇夫著	講談社
B-B1379	ブルーバックス 1379：小事典暮らしの水	建築設備技術者協会編	講談社
B-B1380	ブルーバックス 1380：新装版 四次元の世界	都築卓司著	講談社
B-B1381	ブルーバックス 1381：新装版 パズル・物理入門	都築卓司著	講談社
B-B1382	ブルーバックス 1382：霊はあるか：科学の視点から	安斎育郎著	講談社
B-B1383	ブルーバックス 1383：高校数学でわかるマクスウェル方程式	竹内淳著	講談社
B-B1384	ブルーバックス 1384：新版 マクスウェルの悪魔：確率から物理学へ	都築卓司著	講談社
B-B1385	ブルーバックス 1385：新版 不確定性原理：運命への挑戦	都築卓司著	講談社
B-K849	文庫クセジュ 849：博物館学への招待	リュック・ブワ著	白水社
B-K850	文庫クセジュ 850：中世イタリア絵画	フランソワーズ・ルロワ著	白水社
B-K851	文庫クセジュ 851：芸術哲学入門	ジャン・ラコト著	白水社
B-K852	文庫クセジュ 852：二十世紀の建築	ジェラルド・モエイ著	白水社
B-K853	文庫クセジュ 853：パリの歴史[新版]	イヴァン・ゴンボ-著	白水社
B-K854	文庫クセジュ 854：子どもの絵の心理学入門	フリップ・ワロン著	白水社
chu1630	中公新書 1630：父親力、母子密着型子育てからの脱出	正高信男著	中央公論新社
chu1631	中公新書 1631：大学は生まれ変わるか	喜多村和之著	中央公論新社
chu1632	中公新書 1632：痛みの治療	後藤文夫著	中央公論新社
chu1633	中公新書 1633：ノベル賞の100年	馬場錬成著	中央公論新社

請求記号	タイトル	著 編 者	発行所
chu  1634	中公新書 1634 : フランス歳時記	鹿島茂著	中央公論新社
chu  1635	中公新書 1635 : 物語スペインの歴史	岩根園和著	中央公論新社
chu  1636	中公新書 1636 : オール・ヒストリ-	御厨貴著	中央公論新社
chu  1637	中公新書 1637 : イギリス式結婚狂想曲	岩田託子著	中央公論新社
chu  1638	中公新書 1638 : 胎児の複合汚染	森千里著	中央公論新社
chu  1639	中公新書 1639 : テロ,現代暴力論	加藤朗著	中央公論新社
chu  1640	中公新書 1640 : 海外リアン,パワーの源泉に迫る	朴三石著	中央公論新社
chu  1641	中公新書 1641 : 虫たちの生き残り戦略	安富和男著	中央公論新社
chu  1642	中公新書 1642 : 水戸光圀語録,生きつづける合理的精神	鈴木一夫著	中央公論新社
chu  1643	中公新書 1643 : 学習障害(LD),理解とサポートのために	柘植雅義著	中央公論新社
chu  1644	中公新書 1644 : ハワイの歴史と文化,悲劇と誇りのモザイクの中で	矢口祐人著	中央公論新社
chu  1645	中公新書 1645 : カエル,水辺の隣人	松井正文著	中央公論新社
chu  1646	中公新書 1646 : 人口減少社会の設計,幸福な未来への経済学	松谷明彦著	中央公論新社
chu  1647	中公新書 1647 : 言語の脳科学	酒井邦嘉著	中央公論新社
chu  1648	中公新書 1648 : 入門環境経済学	日引聡, 有村俊秀著	中央公論新社
chu  1649	中公新書 1649 : 霞ヶ関歴史散歩	宮田章著	中央公論新社
chu  1650	中公新書 1650 : 韓国大統領列伝	池東旭著	中央公論新社
chu  1651	中公新書 1651 : マガバノクの誤算	箭内昇著	中央公論新社
chu  1652	中公新書 1652 : 中国第三の革命	朱建榮著	中央公論新社
chu  1653	中公新書 1653 : 代替医療	蒲原聖司著	中央公論新社
chu  1654	中公新書 1654 : カラー版 極限に生きる植物	増沢武弘著	中央公論新社
chu  1655	中公新書 1655 : 物語ウクライナの歴史	黒川祐次著	中央公論新社
chu  1656	中公新書 1656 : 詩歌の森へ	芳賀徹著	中央公論新社
chu  1657	中公新書 1657 : 地域再生の経済学	神野直彦著	中央公論新社
chu  1658	中公新書 1658 : 戦略的思考の技術	梶井厚志著	中央公論新社
chu  1659	中公新書 1659 : 心の起源	木下清一郎著	中央公論新社
chu  1660	中公新書 1660 : 物語イソンの歴史	宮田律著	中央公論新社
chu  1661	中公新書 1661 : こころの作法	山折哲雄著	中央公論新社
CK-B  あ  26-4	ちくま文庫 あ-26-4 : 活字の人さらい	嵐山光三郎著	筑摩書房
CK-B  あ  31-2	ちくま文庫 あ-31-2 : 極道者	青山光二著	筑摩書房
CK-B  あ  33-1	ちくま文庫 あ-33-1 : 科学と非科学の間	安斎育郎著	筑摩書房
CK-B  い  45-5	ちくま文庫 い-45-5 : やくざ外伝柳川組二代目	猪瀬健治著	筑摩書房
CK-B  う  23-1	ちくま文庫 う-23-1 : 自分らしさを愛せる女,愛せない女	海原純子著	筑摩書房
CK-B  か  3-11	ちくま文庫 か-3-11 : 東京おもひで草	川本三郎著	筑摩書房
CK-B  か  35-6	ちくま文庫 か-35-6 : 小酒井不木集,恋愛曲線	小酒井不木著	筑摩書房
CK-B  か  35-7	ちくま文庫 か-35-7 : 渡辺啓助集,地獄横丁	渡辺啓助著	筑摩書房
CK-B  か  35-8	ちくま文庫 か-35-8 : 水谷準集,お・それ・みを	水谷準著	筑摩書房
CK-B  か  35-9	ちくま文庫 か-35-9 : 佐藤春夫集,夢を築く人々	佐藤春夫著	筑摩書房
CK-B  か  38-1	ちくま文庫 か-38-1 : かづきれいのいきいきメイク	かづきれいこ著	筑摩書房
CK-B  か  39-1	ちくま文庫 か-39-1 : 大正時代の身の上相談	カワグハス編	筑摩書房
CK-B  か  40-1	ちくま文庫 か-40-1 : トンデモ一行知識の世界	唐沢俊一著	筑摩書房
CK-B  き  14-1	ちくま文庫 き-14-1 : 赤線跡を歩く,消えゆく夢の街を訪ねて	木村聡著	筑摩書房
CK-B  こ  21-1	ちくま文庫 こ-21-1 : 志ん朝の風流入門	古今亭志ん朝,齋藤明著	筑摩書房
CK-B  こ  22-1	ちくま文庫 こ-22-1 : まるごとナース,看護婦さんのお仕事	小林光恵,片野裕美著	筑摩書房
CK-B  こ  4-18	ちくま文庫 こ-4-18 : 私説東京繁昌記	小林信彦,荒木経惟著	筑摩書房
CK-B  こ  5-20	ちくま文庫 こ-5-20 : 禁演落語	小島貞二編著	筑摩書房
CK-B  さ  14-5	ちくま文庫 さ-14-5 : 人を覗にいく	佐野真一著	筑摩書房
CK-B  し  10-10	ちくま文庫 し-10-10 : シェイクスピア全集 10 ; ウェニスの商人	[シェイクスピア著]	筑摩書房
CK-B  し  18-1	ちくま文庫 し-18-1 : 清水ちなみ改造講座	清水ちなみ著	筑摩書房
CK-B  た  23-6	ちくま文庫 た-23-6 : 嫌妻権	田辺聖子著	筑摩書房
CK-B  た  37-2	ちくま文庫 た-37-2 : 水滸伝の世界	高島俊男著	筑摩書房
CK-B  た  39-1	ちくま文庫 た-39-1 : 微生物がいっぱい	田口文章,長谷川勝重著	筑摩書房
CK-B  た  40-1	ちくま文庫 た-40-1 : 味覚日乗	辰巳芳子著	筑摩書房
CK-B  た  41-2	ちくま文庫 た-41-2 : 旅 (田中小実昌エッセイ・コレクション2)	田中小実昌著	筑摩書房
CK-B  た  41-3	ちくま文庫 た-41-3 : 映画 (田中小実昌エッセイ・コレクション3)	田中小実昌著	筑摩書房
CK-B  た  42-1	ちくま文庫 た-42-1 : 江戸あきない図譜	高橋幹夫著	筑摩書房
CK-B  つ  10-1	ちくま文庫 つ-10-1 : 占い師!	露木まさひろ著	筑摩書房



請求記号	タイトル	著 編 者	発行所
CK-B  て  9-6	ちくま文庫 て-9-6：手塚治虫マンガ音楽館	手塚治虫著	筑摩書房
CK-B  て  9-7	ちくま文庫 て-9-7：二階堂黎人が選ぶ!手塚治虫SF傑作集 時間旅行者編	手塚治虫著	筑摩書房
CK-B  な  24-2	ちくま文庫 な-24-2：強くて淋しい男たち	永沢光雄著	筑摩書房
CK-B  な  25-1	ちくま文庫 な-25-1：奇妙な本棚	伴田良輔著	筑摩書房
CK-B  な  30-1	ちくま文庫 な-30-1：古本屋おやじ	中山信如著	筑摩書房
CK-B  な  31-1	ちくま文庫 な-31-1：体験の骨董用語録	中島誠之助著	筑摩書房
CK-B  は  6-8	ちくま文庫 は-6-8：これで古典がよくわかる	橋本治著	筑摩書房
CK-B  ひ  11-2	ちくま文庫 ひ-11-2：家族を卒業します。	久田恵著	筑摩書房
CK-B  ふ  29-3	ちくま文庫 ふ-29-3：味方をふやす技術	藤原和博著	筑摩書房
CK-B  ふ  30-1	ちくま文庫 ふ-30-1：翻訳者の仕事部屋	深町眞理子著	筑摩書房
CK-B  ま  24-1	ちくま文庫 ま-24-1：昭和の俠客、鬼頭良之助と山口組三代目	正延哲士著	筑摩書房
CK-B  む  10-1	ちくま文庫 む-10-1：国語辞典で腕だめし	武藤康史著	筑摩書房
CK-B  む  5-5	ちくま文庫 む-5-5：ピ-の話	群ようこ著	筑摩書房
CK-B  も  11-4	ちくま文庫 も-11-4：「谷根千」の冒険	森まゆみ著	筑摩書房
CK-B  も  16-1	ちくま文庫 も-16-1：幕末暗殺史	森川哲郎著	筑摩書房
CK-B  や  20-7	ちくま文庫 や-20-7：放蕩かっぱれ節、山田洋次落語集	山田洋次著	筑摩書房
CK-B  よ  13-4	ちくま文庫 よ-13-4：火星田マチ子	吉田戦車著	筑摩書房
CK-B  よ  13-5	ちくま文庫 よ-13-5：火星ルンバ	吉田戦車著	筑摩書房
CK-B  よ  2-4	ちくま文庫 よ-2-4：私の「戦争論」	吉本隆明、田近伸和著	筑摩書房
CK-B  れ  2-1	ちくま文庫 れ 2-1：Aiジョン・レノが見た日本	ジョン・レノ絵、オノ・ヨーコ序・監修	筑摩書房
IW  J  393	岩波ジュニア新書 393：ルネサンス	澤井繁男著	岩波書店
IW  J  394	岩波ジュニア新書 394：宇宙物理への道、宇宙線・ブラックホール・ビッグバン	佐藤文隆著	岩波書店
IW  J  395	岩波ジュニア新書 395：自分をつたえる	荒田洋治著	岩波書店
IW  J  396	岩波ジュニア新書 396：音楽でバリアを打ち壊せ	菊地昭典著、千坂コウイチロウ写真	岩波書店
IW  J  397	岩波ジュニア新書 397：地磁気逆転X年	綱川秀夫著	岩波書店
IW  J  398	岩波ジュニア新書 398：恋の歌、恋の物語、日本古典を読む楽しみ	林望著	岩波書店
IW  J  399	岩波ジュニア新書 399：ピ-ター流わくわく旅行術	ピ-ター・ワソクル著	岩波書店
IW  J  400	岩波ジュニア新書 400：漢字のサーカス	馬場雄二著	岩波書店
IW  J  401	岩波ジュニア新書 401：目を閉じて心開いて	三宮麻由子著	岩波書店
IW  J  402	岩波ジュニア新書 402：カー版里山を歩こう	今森光彦著	岩波書店
IW  J  403	岩波ジュニア新書 403：英文法に強くなる	林信孝著	岩波書店
IW  J  404	岩波ジュニア新書 404：歌舞伎入門	古井戸秀夫著	岩波書店
IW  J  405	岩波ジュニア新書 405：ラフカディオ・ハーン、日本のこころを描く	河島弘美著	岩波書店
IW  J  406	岩波ジュニア新書 406：世界の環境都市を行く	井上智彦、須田昭久編著	岩波書店
IW  J  407	岩波ジュニア新書 407：今昔物語集の世界	小峯和明著	岩波書店
IW  J  408	岩波ジュニア新書 408：植物は何を見ているか	古谷雅樹著	岩波書店
IW  J  B-1	岩波ジュニア新書 別冊：ぼくたちの今、岩波ジュニア新書をよむ	岩波書店編集部編	岩波書店
IW  R  699	岩波新書新赤版 699：新折々のうた5	大岡信著	岩波書店
IW  R  774	岩波新書新赤版 774：技術官僚、その権力と病理	新藤宗幸著	岩波書店
IW  R  775	岩波新書新赤版 775：ニュー・ヨーク	亀井俊介著	岩波書店
IW  R  776	岩波新書新赤版 776：西域探検の世紀	金子民雄著	岩波書店
IW  R  777	岩波新書新赤版 777：分子生物学入門	美宅成樹著	岩波書店
IW  R  778	岩波新書新赤版 778：ユ-ロ、その衝撃とゆくえ	田中素香著	岩波書店
IW  R  779	岩波新書新赤版 779消費者金融、実体と救済	宇都宮健児著	岩波書店
IW  R  780	岩波新書新赤版 780：古代ギリシャの旅、創造の源をたずねて	高野義郎著	岩波書店
IW  R  781	岩波新書新赤版 781：若者の法則	香山功著	岩波書店
IW  R  782	岩波新書新赤版 782：人間回復の経済学	神野直彦著	岩波書店
IW  R  783	岩波新書新赤版 783：在日米軍	梅林宏道著	岩波書店
IW  R  784	岩波新書新赤版 784：パレスチナ	広河隆一著	岩波書店
IW  R  785	岩波新書新赤版 785：中国人強制連行	杉原達著	岩波書店
IW  R  786	岩波新書新赤版 786：一億三千万人のための小説教室	高橋源一郎著	岩波書店
IW  R  787	岩波新書新赤版 787：インカとエジプト	増田義郎、吉村作治著	岩波書店
IW  R  788	岩波新書新赤版 788：靖国の戦後史	田中伸尚著	岩波書店
IW  R  789	岩波新書新赤版 789：山が消えた、残土・産廃戦争	佐久間充著	岩波書店
IW  R  790	岩波新書新赤版 790：植民地朝鮮の日本人	高崎宗司著	岩波書店
IW  R  791	岩波新書新赤版 791：武玉川・とくとく清水、古川柳の世界	田辺聖子著	岩波書店
IW  R  792	岩波新書新赤版 792：ナチ・ドイツと言語	宮田光雄著	岩波書店

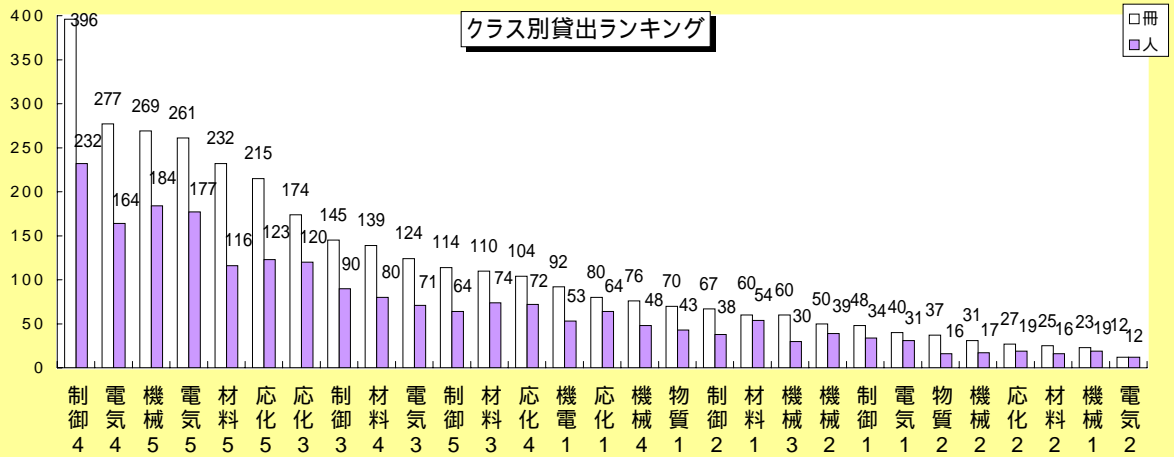
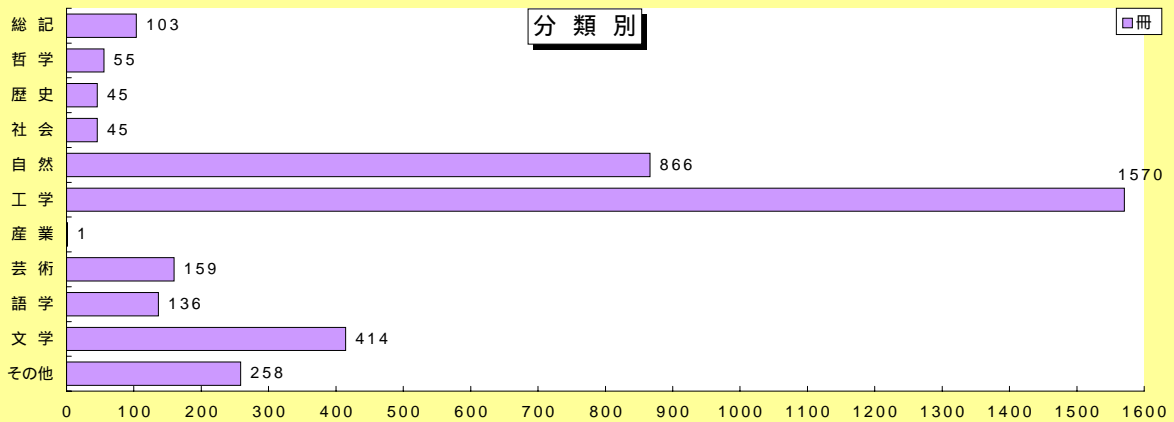
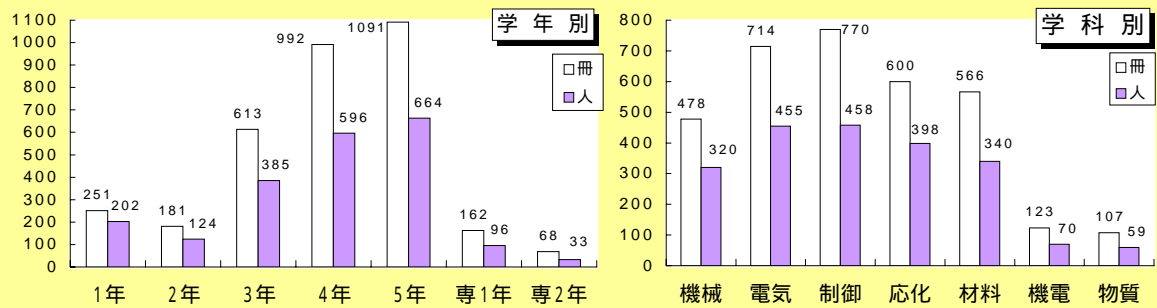


# 平成14年度 図書館利用状況（前期）

## 開館日数及び入館者数

月	開館日数	入館者数				一般利用者数 (内数)	一日平均入館者数 (四捨五入)
		平日		土曜日	合計		
		時間内	時間外				
4	24	5,420	477	128	6,025	5	251
5	24	5,944	881	97	6,922	12	288
6	25	5,614	874	202	6,690	9	268
7	20	5,606	577	59	6,242	7	312
8	22	2,727	0	0	2,727	8	124
9	23	6,653	617	454	7,724	9	336
合計	138	31,964	3,426	940	36,330	50	263

## 図書貸出状況



# INFORMATION

## 特別（長期）貸出について

冬季休業中の特別（長期）貸出を下記のとおり行います。  
貸出期間：12月17日（火）から12月27日（金）まで 返却期限：1月8日（水）まで  
貸出冊数：5冊以内 返却期日厳守のこと。 一般利用者及び教職員は従来どおりです。

## 開館時間の変更及び休館日について

冬季休業及び年末年始は下記のとおりです。

12月20日	(金)	9時～20時	12月28日	(土)	休館(年末・年始)
12月21日	(土)	休館			
12月22日	(日)	休館	1月4日	(土)	休館(年末・年始)
12月23日	(月)	休館(祝日)	1月5日	(日)	休館
12月24日	(火)	9時～20時	1月6日	(月)	9時～17時
12月25日	(水)	9時～17時(冬季休業)	1月7日	(火)	9時～17時(授業開始)
12月26日	(木)	9時～17時	1月8日	(水)	9時～20時
12月27日	(金)	9時～17時			

## 卒業・修了予定者への貸出等について

今年度卒業・修了予定者への貸出は下記のとおりです。  
貸出：2月25日（火）まで 返却：3月4日（火）まで

## ノートパソコン持込専用デスクの設置について

閲覧室内の参考図書コーナーにノートパソコン持込専用デスクを設置しました。教室のインターネット環境と同じ設定です。自由に利用して下さい。

## 返却日の厳守と図書の取扱について

みんなが利用する図書です。一人で長時間独占しないで期日までには、必ず返却してください。  
なお、延滞図書がある利用者には貸出は行いません。また、図書の取扱いが粗雑な人がいるようです。書込み、切取り、頁折り等は絶対に止めてください。

### 《編集後記》

寄稿を快諾され、玉稿をお寄せ戴いた松原、坂元、矢谷の三先生に、また読後感を簡約にまとめてくれた学生の皆さんに、それぞれ厚くお礼を申し上げます。

表紙を見て一瞬、とまどった人も多いのでは。「CCC」所属の学生さん作製のコンピューターグラフィックス、多忙な活動の合間を縫っての作品です。表紙の裏に簡単な説明があるので参照してください。

矢谷先生の原稿には、一瞥、数式が幾つか出ていて文系の私は - 寸めまいを覚えました。が、読み進めていくうちにじわりと伝わるものがあり、「わかる」ということの意味が少しは分かったように思います。先生の温容に接していると、人間にとっての最大の教育的環境が人間であるという思いが募ってきます。

(図書主幹 平元 道雄)

発行日：平成14年12月16日

発行・編集：久留米工業高等専門学校図書館 〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号  
Phone：0942-35-9306 E-mail：L-staff.GAD.@ON.kurume-nct.ac